

J R 総連通信

2021年11月2日 No.1485

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

連合「2022 春季生活闘争中央討論集会」

JR 総連「各産別が統一要求を掲げたたたかうことが重要！
連合はその旗振り役を！」



11月2日、連合「2022 春季生活闘争中央討論集会」が都内で開催されました。

集会では、芳野会長主催者あいさつに続いて、基調講演を受けた後、2022 春季生活闘争について「賃上げ分2%程度、定期昇給分を含め4%の賃上げ」を含めた基本構想が提起されました。

全体討論では、小林政策・政治部長より「この一年コロナ禍により、一時金の減額や定昇切り込みなどもあり、組合員の生活は苦しくなった。また、低賃金による将来不安から若年退職が増えている。連合が示すように、分配構造の転換に繋がりを賃上げを実現しなくてはならない。そのために各産別が統一の要求を掲げてたたかうことが重要であり、連合にはその牽引役、旗振り役をお願いする。芳野会長のあいさつにあるように、すべての組合が月例賃金の改善にこだわり、『底上げ』『底支え』『格差是正』の取り組みを強力に推し進め、現場組合員の声を要求に高めて共に奮闘する」と述べました。



発言する小林政策・政治部長